

授業評価アンケート

2023年度 後期

授業コード : 232073

授業科目名 : 生命倫理学(生命倫理)

履修者数 : 83名

担当教員名 : 菅原 宏道

回答者数 : 76名

学部 :	医療福祉	76	現代社会	0	経営法/総合政策	0	工/科学技術	0
	無回答	0						
学科専攻 :	理学療法	76	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	0
	看護	0	保健福祉	0	生活福祉	0	現代社会	0
	経営法/総合政策	0	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0
	無回答	0						
学年 :	1年	76	2年	0	3年	0	4年	0
							無回答	0

設問文	⑤	④	③	②	①	科目平均	大学平均																
A: 授業への取り組みについて																							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	67	5	0	0	4	4.72	4.37																
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	54	13	5	4	0	4.54	4.35																
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	34	16	11	12	3	3.87	4.29																
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	19	6	19	9	23	2.86	3.90																
B: 授業内容・方法・成果について																							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)	<table border="1"> <tr> <td>対面授業</td> <td>76</td> <td>遠隔(meet)</td> <td>0</td> <td>遠隔(音声ファイル)</td> <td>0</td> <td>遠隔(動画ファイル)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔(チャット)</td> <td>0</td> <td>遠隔(課題)</td> <td>18</td> <td>遠隔(テスト)</td> <td>0</td> <td>無回答</td> <td>0</td> </tr> </table>							対面授業	76	遠隔(meet)	0	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0	遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	18	遠隔(テスト)	0	無回答	0
対面授業	76	遠隔(meet)	0	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0																
遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	18	遠隔(テスト)	0	無回答	0																
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	64	10	2	0	0	4.82	4.57																
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	56	17	3	0	0	4.70	4.41																
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	32	9	25	6	4	3.78	4.13																
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	61	13	2	0	0	4.78	4.42																
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	51	12	12	1	0	4.49	4.41																
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	49	20	6	1	0	4.54	4.43																
C: 授業の全般的印象																							
問12. 教員の熱意を感じましたか	62	11	3	0	0	4.78	4.56																
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	51	22	3	0	0	4.63	4.49																
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	58	15	2	1	0	4.71	4.49																

学生へのメッセージ

生命倫理学は、将来的に医療関連の職に従事する人が職業生活のために必ず学んでおかなければならない学問分野であるとともに、患者やその家族という当事者の予備軍として考えておくべき問題を多く扱っています。皆さんには、本科目で扱った倫理理論や諸問題などを、国家試験や職業生活に向けて整理して理解した上で、実践に向けた知識や独自の価値として活かして欲しいと思います。なお、医療従事者を目指す人は、7回の講義で扱ったことだけでは、どうしても不足しますので(医療系の専門学校等では14回の講義です)、推薦した参考図書などで補うことを勧めます。

